



私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介していきます。

本市の教育と子どもたちに寄せる思いを、4人の教育委員の皆さんにリレー形式で語っていただきます。今回は嶋田桂子委員です。



こんにちは、教育委員の嶋田です。教育委員として、市内の小・中・特別支援学校の学校訪問や各種行事に伺うたびに、子

どもたちの生き生きとした姿、はじけるような笑顔に心が洗われるような思いで、教育委員をさせて頂いていての幸せを感じます。

大牟田の教育は、この大切な子どもたちが、学びの楽しさを感じ、さまざまな課題に立ち向かい解決する力を持ち、自らの思いを発信することができるような取り組みを行っています。各学校は、「ユネスコスクール」としての特色を生かし、より良い学びの場となるように頑張っています。

私たちの大牟田は、生涯学習の機会も多いまちです。未来につながる持続可能な大牟田のまちを目指して、大人も子どもも、一緒に学び続けていきましょう。

今後とも、教育委員会の活動にご協力をよろしくお願いいたします。

●新しい教育委員が就任



東秀樹委員

新しい教育委員として東秀樹委員が就任しました（3月22日付）。

【主な経歴】

昭和57年3月
鹿児島大学医学部卒業
平成8年4月
医療法人静光園白川病院院長
平成11年4月
医療法人静光園理事長

【東秀樹委員からひとこと】

医師として長年地域医療に携わってききましたが、このたび教育委員として、本市教育の振興に関わることとなりました。

教育委員会では、知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒を育てる教育を進めています。医学に関する知識と経験を生かして、特に健康面を重視し、心身ともにたくましい児童生徒を育てていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

●教育みらい創造室を設置

4月から、新たに教育委員会事務局に、「教育みらい創造室」を設置しました。

教育みらい創造室では、本市の特色ある教育や、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育などのさまざまな取り組みを、より効果的に推進できるよう、業務の企画や情報発信などを行っています。

その一環として、本市の特色ある教育を広く知っていただくため、月2回のペースで「教育みらい創造室だより」を発行し、各学校を通して保護者の皆さんに届けています。

（教育みらい創造室だより第1号）

平成28年度
大牟田市の教育

ユネスコスクールのまち おおむた！

ユネスコスクールとは？

ユネスコとは、世界中の国々が集まって作る「国際連合」という集まりの中で、教育や文化を重視し、戦争を二度と起こさないよう活動しているところです。

ユネスコスクールの1つに、ユネスコスクールというものがあります。ユネスコスクールとは、地球規模の課題を自らの課題ととらえ、立ち向かい、解決するための学習（ESD）を進める学校のことです。

大牟田市の公立小学校、中学校、特別支援学校30校は、平成23年度末にユネスコスクールに加盟し、ESDを推進しています。

市内全ての小・中・特別支援学校が一斉に加盟したことは、世界的にも珍しい注目されています。

※大牟田は、持続可能な社会づくりを目指す子どもを育てるまちです。

次号から、各学校のESDの取組を紹介します！

問い合わせ先

大牟田市教育委員会 教育みらい創造室
〒806-8667 大牟田市有明町2-3
TEL 0944-411-2967（直通）
FAX 0944-411-2965

「教育みらい創造室」は、大牟田の特色ある教育と文化の発展に寄与し、市民に情報発信を行います。

教育委員会のホームページにもさまざまな記事を掲載していますので、ぜひ見てください。

大牟田市学校教育振興プラン

教育委員会では、本市教育の基本理念や基本方針を定めた「大牟田市学校教育振興プラン2016～2019」を策定しました。

●本市教育の

振興に関する基本計画

大牟田市学校教育振興プランは、教育基本法に基づく本市の教育の振興に関する基本的な計画であり、計画期間は総合計画「まちづくり総合プラン」と同じく、平成28年度から31年度までの4年間です。

●取り組む施策

基本理念と基本方針の実現のため、次の5つの基本施策の推進に取り組めます。

- ◆ 特色ある学校教育の展開
- ◆ 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ
- ◆ 学校教育環境の充実
- ◆ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり
- ◆ 人権に関する教育・啓発の推進

●平成28年度の事業計画

大牟田市学校教育振興プランに基づいて、「平成28年度大牟田市学校教育振興事業計画」を策定し、「大牟田英語教育ステップアップ推進事業」などをはじめとする、50あまりの事業の推進に取り組めます。
また、事業計画については、29年度以降も毎年度策定する予定です。

学校の特色あるESDの取り組み～天領小学校

各学校は、それぞれの特色を生かしてESD（持続可能な開発のための教育）に取り組んでいます。今回から、世界遺産学習をESDのテーマとしている学校を紹介します。1回目は天領小学校です。

●天領小のESD

天領小学校では、三池港などの地域の資産を活用したESDを推進し、郷土を愛し郷土の発展を願って、ともに考え行動する子どもを育てています。

【私たちの誇り～三池港】

27年度の世界遺産学習で、三池港を船で見学した子どもたちは、開港の動く様子を目の当たりにするなどし、世界とつながる港としての価値を実感しました。
その後、子どもたちは、三池港

の世界遺産登録決定を記念する児童集会の開催を通して、校区の人たちと交流しました。

また、校区と大牟田のことをより多くの人に知ってもらいたいと考え、三池港や宮原坑などを題材に絵画を描き、フランスの学校との交流を行いました。

さらに、外国からの観光客を想定し、三池港に英語の案内板を作った掲げたり、英語での道案内を練習したりしました。

【取り組みの成果】

この取り組みを通して、子どもたちは、世界遺産としての三池港の価値と地域の発展、大牟田と世界のつながりについて考えたり、実際に地域や外国の人たちと交流したりすることができました。また、そのつながりが、地域への愛着を深めるとともに、世界に目を向け、ESDで目指している、自ら考え行動することのきっかけにもなりました。



フランスとの絵画交流



「世界遺産登録記念」児童集会



三池港への英語の案内板

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）